

令和4年12月23日

茨城大学人文社会科学部後援会支援事業  
「経済地理学ゼミナール合宿」終了報告書

経済地理学ゼミナール教員 田中耕市

## I. 事業の主旨

経済地理学ゼミナールに所属する3年生9人が参加するゼミ合宿を、愛媛県松山市で実施した。合宿では市内の巡検を実施して、地理的条件・環境に基づく都市の成立過程、島の生活の課題・問題、まちづくり・地域活性化事業、防災事業など、地理学に関わる様々な事象を現場で学んだ。水戸市周辺ではみられない事象について、実際に現地で学ぶことにより、学生らの視野を広げ、新たな発想力を養うことが目的である。新型コロナ感染拡大前の2019年度までは、対象地域を変えながら毎年実施してきたが、今年度は3年ぶりの実施となった。

## II. 日程・参加者数

日時：2022年10月22日（土）～24日（月）

参加者：3年生9名、教員1名

## III. 巡検ルート・説明ポイント

- |               |            |
|---------------|------------|
| ①興居島          | ⑥中ノ川・石手川   |
| ②三津の渡し・三津浜港   | ⑦大街道       |
| ③三津浜商店街       | ⑧ロープウェー商店街 |
| ④古町・公共交通・伊予鉄道 | ⑨松山城       |
| ⑤松山市駅周辺・銀天街   |            |

## IV. 補助金使途

補助金（一人あたり3,500円）は、宿泊代に使用した。

宿泊先：道後 hakuro（10月22日から二泊：一人あたり18,850円）

## V. 合宿の概要

学生らは、上記巡検ルートの見学箇所についてあらかじめ担当が割り振られ、文献や資料をもとに事前調査を行い、資料を作成した。巡検当日は、それらの配付資料を用いながら、現場において担当の学生が説明を行った。早朝に宿を出発して、路面電車・伊予鉄道・フェリーを適宜利用しつつ、貸自転車と徒歩で効率的にまわった。天気にも恵まれて、最後は夕

陽の差す松山城にて予定の行程を無事に終えることができた。合宿中は、新型コロナ感染対策には万全を尽くした。

参加した学生らは、新型コロナ感染拡大し始めた 2020 年度の入学であり、オンライン授業も多く、自由に遠出をすることもままならなかった。大学入学後で最高の思い出になったと話す学生もおり、苦境下でずっと我慢してきた学生らが、このように現場で楽しく学ぶ経験をできたことは、教員としても大変嬉しいことであった。感染拡大が落ち着いた状況下で、後援会のご支援を受けて、このような現場で学べる機会を得られたことを感謝したい。

以上



「三津の渡し」の舟に乗る



興居島の移住者向け住宅を見学\_1



興居島の移住者向け住宅を見学\_2



興居島へのフェリー



興居島を自転車で移動\_1



興居島を自転車で移動\_2



三津浜商店街でおやつ



古町の阿沼美神社



宿で記念撮影



松山城で記念撮影



松山城への登り



松山城天守閣



道後温泉駅前で記念撮影



松山城から街を臨む



大街道を歩く



道後温泉駅前からくり時計前で  
記念撮影